

市議 保坂れい子
建設常任委員会

net 神奈川ネットは地域政党です 進めよう！市民参加・市民政治

市議 井上みかこ
教育福祉常任委員会



市民生活に欠か
せない公共
サービスは
着実に！

下水道事業・ごみ収集事業から考える

松尾市長は他市に先駆けるような事業に熱心ですが、市民生活に不可欠な事業は、「目新しさ」などなくても、将来を見据えて着実に取組むこと、その取組みを市民に対して丁寧に説明することが必要です。



(134号線沿いに設置された仮設送水管 2016年)

(由比ガ浜の中部ポンプ場)

黄色信号が点滅の 鎌倉市の下水道経営

鎌倉市は下水道使用料を2013年度から据え置いてきましたが、今年4月・2026年度・2029年度と3回にわたって値上げを行います【表1】。下水道事業経営の健全化を図るとしてはありますが、何が課題なのか…①～③をご覧ください。

① 使用料値上げの背景

施設の老朽化 2028年には下水管の約33%が耐用年数とされる50年を経過。浄化センターやポンプ場の設備も改築更新の必要性に迫られています。

財源不足(②へ) 下水道使用料収入は、人口減少や節水型機器の普及などにより減少傾向です。一方、処理経費は全国でも高い水準にあります。

災害対策(③へ) 県の津波浸水想定で浸水域に位置する5か所のポンプ場が停止した場合、約17,000世帯の汚水が長期間処理不能になる可能性があり、津波の影響を受けにくい下水道の整備(ポンプ場不要で自然流下する、深度が深い下水道幹線)や施設の耐震化が必要です。

下水道施設は市の施設で最も電力を消費する！
2位のごみ処理施設の3倍弱、3位の全市立学校合計の4.5倍の電力を消費。電気料金値上げは痛手。

【表1】2023年4月の使用料改定

排水量 (2か月)	15㎡	40㎡	60㎡
(イメージ)	(1人暮らし)	(2~3人)	(4人家族)
改定前	1,707円	4,604円	7,354円
改定後	2,046円	5,508円	8,756円
(差額)	(+339円)	(+904円)	(+1,432円)

② 下水道事業の財源不足とは？

● 下水道経費は、雨水分は公費(税金)、汚水分は下水道使用料で負担するのが原則です。

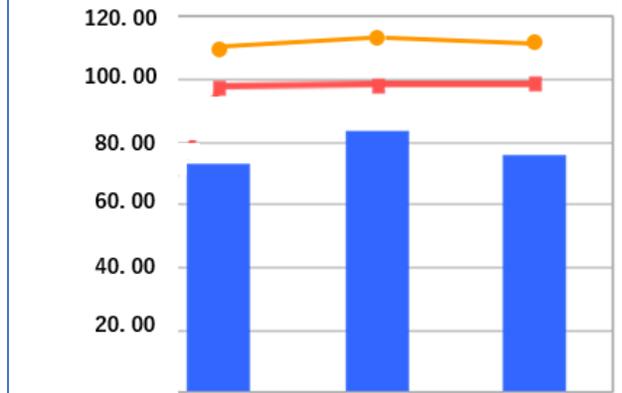
● **経費回収率**(使用料収入÷汚水処理費用×100)は100%以上であることが必要ですが、鎌倉市下水道は令和3年度決算で約76%に低迷しています。【表2】

● 経費回収率を高めるには、使用料収入増と維持管理費の節減に努める必要があります。

《使用料収入》総務省は、かねてより下水道使用料単価150円/㎡を最低限の目安として示しており、鎌倉市の今回の値上げはこの目安に届くようにしたものです。

《維持管理費》鎌倉市は、早い時代に整備したため施設が老朽化し、地形的制約等により処理場2か所、汚水中継ポンプ場7か所、低地排水ポンプ場多数を有するため、極めて高い水準です。

【表2】鎌倉市下水道 経費回収率(青い縦棒)



	令元	令2	令3
鎌倉市(青)	72.62	83.49	75.91
平均値(赤)	97.91	98.61	98.75
横須賀市(黄)	108.44	115.16	113.75

※平均値…類似団体(人口10万人以上、処理区域内人口密度50人/ha、使用開始後30年以上)の平均。横須賀市も該当。
(神奈川県HP 公営企業に係る「経営比較分析表」2021年度)

③ 災害に強い持続可能な下水道に向けて

持続型下水幹線の整備に向けては、七里ガ浜処理場を経由して山崎処理場に送水する案が検討されてきましたが、新たな案として、鎌倉処理区の汚水を直接山崎処理場へ送水する幹線の検討が始まったところ。受益者負担の原則で使用料の値上げをするのであれば、市の責任として、地震災害に強いまちづくりと、処理場の一元化による処理経費(維持管理費)の節減を目指して、整備を着実に進めなくてはなりません。

なぜ今、ごみの戸別収集の検討を再開？



議会が認めなかった戸別収集全市実施

● 鎌倉市は2012年10月から約3年半、七里ガ浜・鎌倉山・山ノ内の3地区で戸別収集のモデル事業を実施しました。

● 市長は戸別収集を段階的に導入して全市実施に向かう方針を発表しましたが、ごみ減量の費用対効果が低いこと等を問題視した議会は、これを認めませんでした。2016年1月、市長は全市実施の方針を見直し、引き続き課題の整理を行うことを表明しました。

7年を経て検討再開の理由は？

● 今年度予算には、意見聴取の経費120万円が計上されているだけですが、早ければ2024年度後半からの戸別収集の段階的実施を見据え、検討を進めるとのことです。

● 「有料化とセット」で提案された時には、「ごみの減量」が強調されましたが、今回は(1)クリーンステーション(CS)収集に伴う様々な負担軽減

- ① 高齢者等のごみ出しの労力の軽減
- ② CS維持管理等の負担軽減
 - ・設置場所をめぐるトラブルの解消
 - ・不法投棄やカラスなどによる被害対策

(2)ごみの減量 一と説明され、住民福祉の視点が強調されています。

経費増とメリットをしっかりと見比べる！

● 戸別収集はCS収集よりも経費増になります。市民サービスの向上と天秤にかけてどの程度であれば許容しうるのか、また、収集に当たる人員や車両の確保、谷戸や狭い道路が多い市域で効率的な収集ルート構築はできるのか、丁寧な検討が必要です。今後とも注視していきます。

有料化は戸別収集を実施するためではありません

2015年4月に有料化が始まった際、手数料(指定袋売却益)の使途は「ごみの減量・資源化又はごみ処理施設の整備に活用する」と説明されました。当初は、新焼却施設整備に充てるとしていましたが、焼却施設を建設しない方針に転換してからは「ごみ処理施設の整備費用等」に充当するために基金に積み立てられています。